

## ESIP共催セミナー / サイバーレジリエンス演習 / AI実装の障害・不十分な効果に対する調査[JASA News 045 / 2025FY]

一般社団法人組込みシステム技術協会 <jasainfo@jasa.or.jp>

2026年2月17日 12:15

JASA News 2025年度 **045号**をお届けいたします。

このメールはJASA会員の**代表者様・副代表者様・連絡ご担当者様**、ご指定いただいた「教育」・「人事」・「総務」・「技術」各分野のご担当者様、ならびに受信ご希望者に送信していません。

≫ 各記事について、**ご関係者様への転送**をお願いいたします。≪



1. 組込みシステム産業振興機構(ESIP)共催セミナー
2. 業界別サイバーレジリエンス強化演習 (CyberREX)
3. AI社会実装の障害/不十分な効果をもたらす規制・制度調査



- ★ **御社のイベント・製品情報**をJASAから業界配信いたします。
- ☆ **採用・教育・総務・技術** **ご担当者**を「送信先に追加登録」してください。
- ◎ **会員向け専用サイト** 会員限定サービス・会員情報配信・会員情報変更

### 1. 組込みシステム産業振興機構(ESIP) 共催セミナー

生成AI登場によりソフトウェア業界はどう変革するのか?

- 開催日程 2026年**3月5日(木)** **15:30-16:40**
- 講演 ソフトウェア駆動型社会への変革と日本の競争戦略  
～ 組込みソフトウェア業界の提言～ 人月からの脱却とSDxによる新価値創造へ

組込みシステム技術協会 専務理事/ 政策提案委員長 山田 敏行

講演概要

日本の製造業は、経済産業省が提唱する「PIVOT」戦略を踏まえ、国内市場からグローバル市場への展開を加速させます。この変革期において、日本の製造業および組込みソフトウェア開発ベンダーが直面している3つの根本的な課題とその解決策を提言します。

受講対象

組込みシステム産業および製造業に従事されている方

生成AI普及を踏まえたソフトウェア業界のこれからの在り方に課題感をお持ちの方および関心のある方

開催形態 **大阪産業創造館(5階研修室C)**、とオンラインのハイブリッド

詳細・申込み

[https://www.kansai-kumikomi.net/OpenSeminar/2026\\_3/](https://www.kansai-kumikomi.net/OpenSeminar/2026_3/)

開催体制

主催：組込みシステム産業振興機構(ESIP)

共催：一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

後援(予定)：経済産業省 近畿経済産業局

---

## 2. 業界別サイバーレジリエンス強化演習 (CyberREX)

---

(IPA:情報処理推進機構)

### 業界特性を意識した経営課題解決のためのセキュリティ戦略

#### 高まる「サイバーインシデント」の脅威、あなたの部門の備えは万全ですか？

「サイバーレジリエンス」とは、サイバー攻撃を受けた際の被害を最小化し、素早いリカバリーを行うための対応力・回復力のことで、社会インフラ・産業基盤を担う企業における事業継続性(BCP)対策の中でも重要な要素となるものです。本演習は、業界別に特化したシナリオでそれらの企業におけるサイバーレジリエンスを強化し、組織全体のセキュリティ面の強靱化を目指す2日間のプログラムです。

攻撃検知から一次対応、回復までのインシデント対応を想定した演習・ディスカッションを通じて、インシデント対応のノウハウを修得することで対象業界のサイバーレジリエンス強化につなげていきます。今回は、電力、ガス、電気通信・放送、鉄道、道路、物流、スマートモビリティ、自動車(製造部門)、船舶(製造部門)、FA・半導体(製造部門)業界を対象に、最新のサイバーインシデント事例を踏まえたシナリオを用いた演習を行います。

業界の特性を踏まえた実践的なインシデント対応スキルのほか、国内外のセキュリティ関連の規制・ガイドラインの最新動向など、業界内におけるサイバーセキュリティ対策に関する体系的な知見を短期間で得ることができる機会です。

開催日程 **2026年5月14日(木)~15日(金)**

開催会場 **独立行政法人情報処理推進機構** 文京グリーンコートセンターオフィス 8階

対象業界 電力、ガス、電気通信・放送、鉄道、道路、物流、スマートモビリティ、自動車(製造部門)、船舶(製造部門)、FA・半導体(製造部門)

(上記に係る制御システムのユーザー企業・系列企業、当該制御システムのハードウェア/ソ

フトウエアベンダー企業が対象)

対象者 上記企業において、CISOに相当する役割を担っている方、IT部門、生産部門などの責任者・マネージャークラスの方

受講料 一般の方：88,000円(税込)、情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)の方：80,000円(非課税)

申込期日 2026年4月10日(金) 17時

詳細・申込み

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberrex/2026-1.html>

---

### 3. AI社会実装の障害・不十分な効果をもたらす規制・制度調査

---

(経済産業省 AI産業戦略室)

内閣府規制改革推進室及び科学技術・イノベーション推進事務局 人工知能政策推進室より、AIの社会実装において、障害となっている又は不十分な効果をもたらす規制・制度についての情報提供依頼のご連絡となります。

#### ■背景・趣旨

令和7年12月23日に閣議決定された「人工知能基本計画」では、地方創生、経済再生及び国民生活の質の向上に資するAI利活用を促すため、AI利活用を前提とし、既存の規制や制度の見直しを含めた制度改革等を先導的に推進すること、また、そのために様々な局面におけるAIの社会実装の実現に向け、国民の声を聴きながら、既存の規制や制度の点検及び見直しを図ることとされております。

そこで、内閣府では、今後の規制改革推進会議の審議や、人工知能基本計画の改定に向けた検討に活かすことも念頭に、AIの社会実装において、障害となっている又は不十分な効果をもたらす規制・制度(法律、省令、規則、告示、通知・通達等)についての情報を、広く募集します。

#### ■ご提供いただきたい情報

AI(LLM、マルチモーダルAI、エージェントAI、フィジカルAI(AIロボット、完全無人運転、AIドローン等))を開発、提供又は利用するに当たり、次のように、実際に生じている場合だけでなく、想定される場合も含めて、開発ができない、提供ができない、利用ができない、効果が不十分・上がらないなどのお困りになっている規制・制度の内容について伺います。

##### 【具体例】

・AIサービスを開発、提供又は利用をしたいが、国等が定めたルールにより、その開発、提供や利用が規制されている。

・国等が定めたルール等が存在せず、又は存在しているがその内容が不明確であるため、AIサービスを開発、提供や利用できない又は開発、提供や利用を躊躇している。

・AIサービスを開発、提供・利用をすることができるが、国等が定めたルール等が存在しているため、AIサービスの効果が期待されたほど上がらない、又は効率が悪くなる。

・ AI サービスを開発、提供・利用をすることができるが、国等が定めた煩雑な手続が存在している、又は手続の内容が不明瞭であるために、AI サービスの開発、提供・利用が不当に遅延し、又は実質的に制限されている。

■募集期間 令和8年2月10日(火)～3月10日(火)17時まで

■詳細・情報提供フォーム

[https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/forms/260210\\_forms.html](https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/forms/260210_forms.html)

〃〃〃〃 発信元 〃〃〃〃

一般社団法人 組込みシステム技術協会

本部事務局 [jasainfo@jasa.or.jp](mailto:jasainfo@jasa.or.jp)